

「セキュアSD-Branch」で、 ネットワーク一括管理と セキュリティの両方を実現



- 複雑化する企業ネットワーク運用の課題
- ネットワーク運用管理と高度なセキュリティを実現する「セキュアSD-Branch」
- フォーティネット製品の豊富な提供実績を誇るSCSK
- 【お客さま事例】盛岡ガス株式会社様
- 巻末対談：SCSKのエンジニアが語るフォーティネット製品の利点と最新トレンド



大井 泰之
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部 技術第二課 課長



碓井 雄一郎
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部 技術第三課 課長



早田 尚
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部 技術第二課

複雑化する企業ネットワーク運用の課題

多くの支店や拠点を抱える組織は、ビジネスモデルのDX化やリモートワークの推進などにあたり、ネットワークの見直しが必要となっている。ユーザは、オフィスだけでなく社外からもアクセスし、組織内のネットワークに加えてクラウドやSaaSアプリケーションを業務利用する。IT利用環境の変化にともない想定外の通信量の増大、それによるネットワーク遅延などの問題も発生するが原因の特定は簡単ではない。

一方、支店などの小規模拠点は、IT担当の人員が割けず管理者不足に陥っている。本社のIT管理者も拠点側の構成や使用状況が把握できず、設定変更や機器の追加導入、トラブル対応が難しくなっている。

さらに、サイバー攻撃は多様化、巧妙化しており、クラウド利用やリモートワークの推進など、企業ネットワークの変化に応じたセキュリティの見直しも必要だが、どこから着手して良いかわからない。このように、IT管理者への負担は増えているため、複雑化・難化するネットワーク運用をより容易に管理できる仕組みが求められて来ている。

ネットワーク運用管理と高度なセキュリティを実現する「セキュアSD-Branch」

ネットワークの統合運用管理と、進化を続けるサイバー脅威に対する高度なセキュリティを提供するのが「フォーティネット セキュアSD-Branch」だ。フォーティネットは、統合ネットワークセキュリティ製品を開発する企業であり、「FortiGate」を提供するなど、セキュリティ製品の出荷台数で9年連続首位となっている。

FortiGateは、フォーティネットが独自に開発したセキュリティプロセッサや高度なセキュリティ機能を持つFortiOSを備えており、脅威インテリジェンスを提供するフォーティネットのリサーチ部門「FortiGuard Labs」の最新脅威情報に基づきサイバー攻撃から保護する機能を有している。

業界の評価も高く、ガートナーが発行している市場調査レポート「マジック・クアドラント」において、ネットワークファイアウォール、SD-WANの各分野でリーダーの1社に位置づけられている。また、フォーティネット社のスイッチや無線アクセスポイントというと日本国内では未だ認知度が低いかもしれないが、ラインアップ豊富で近年市場シェアを急拡大しており、エンタープライズ向け有線/無線LANインフラストラクチャの分野ではビジョナリーの位置づけまで成長している。

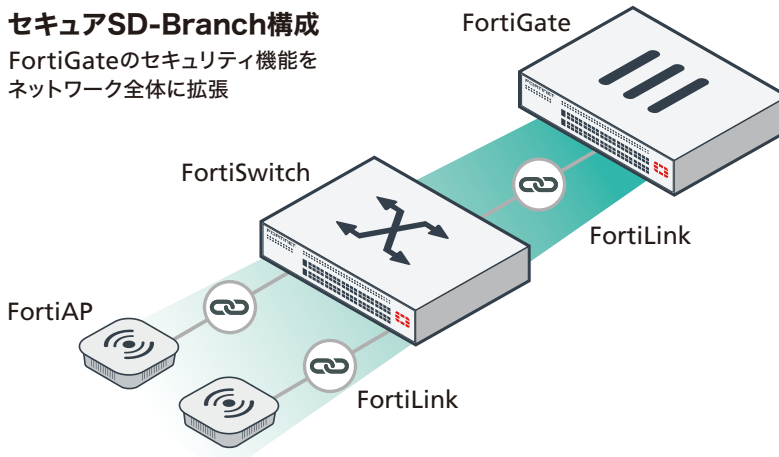


FortiGateは、LANスイッチ「FortiSwitch」及び無線アクセスポイント「FortiAP」のコントローラ機能を標準で備えている。別途専用コントローラや統合管理ソフトウェアへの投資が不要だけでなくスイッチ数やアクセスポイント数に応じたライセンスも不要なため、全体的なコスト削減にも寄与する。

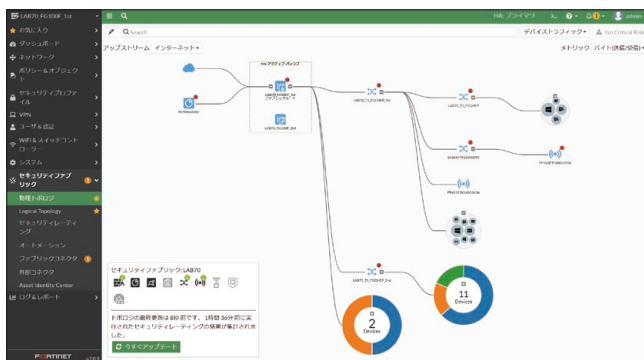
FortiGateの洗練された日本語GUIに管理コンソールが一元化され、ネットワーク全体が可視化されるため、運用管理は大幅にシンプルになる。FortiSwitchやFortiAPに流れるトラフィックもFortiGateでセキュリティ検査でき、ネットワークの利用状況や脅威を可視化し、セキュリティポリシーを迅速に適用することも可能となる。

セキュアSD-Branch構成

FortiGateのセキュリティ機能をネットワーク全体に拡張



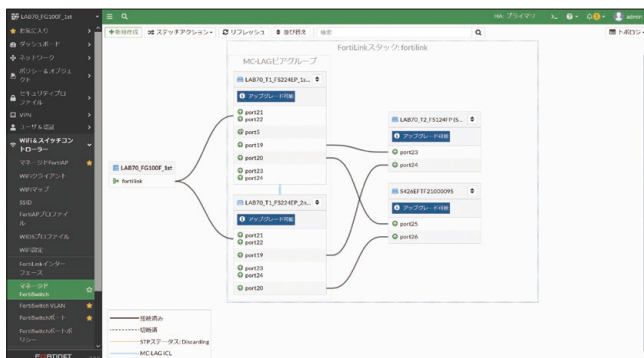
ネットワーク構成や端末の状態を可視化
脅威のある端末を迅速に見つけたり、隔離が可能



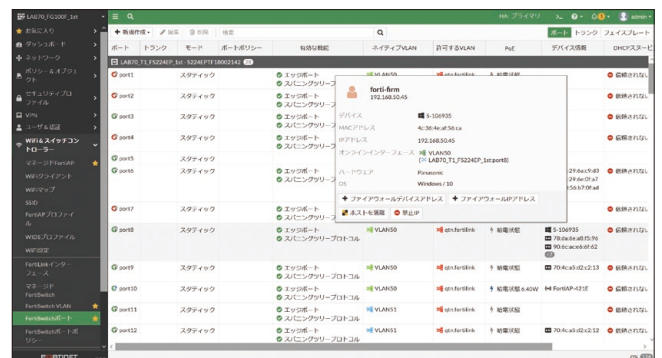
ネットワーク機器の最新の接続状態と接続端末の状態を可視化



FortiAPの集中管理
管理外のアクセスポイント、不正ユーザの検出



FortiSwitchの接続状況の可視化



FortiSwitchの使用状況、PoEデバイスへの給電状況、インターフェース上のデバイスの可視化

複数の拠点を集約して管理するには、クラウドベースの統合管理ツール「FortiGate Cloud」の利用をお勧めしたい。FortiGate Cloudはログ管理、分析、レポート、デバイス管理、設定、クラウド型サンドボックスなどの機能を備えており、FortiGateから収集したログ情報を相関分析し脅威端末の自動隔離も可能となる。

また、ゼロタッチプロビジョニングの機能も備えており、現地では機器をネットワークに接続するだけで多拠点への一斉展開も実現できる。もちろん、FortiGate配下のFortiSwitch、FortiAPの設定も可能だ。

フォーティネット製品の豊富な提供実績を誇るSCSK

SCSKは、2009年から1次代理店としてフォーティネット製品を扱っている。その間「BEST DISTRIBUTOR賞」を11年連続受賞するなど、国内トップレベルのセールス実績を誇る。3つの強み「技術支援」「物流機能」「保守体制」を活かし、年間1万台ほど出荷している。

強みのひとつは、専門人材による「技術支援」だ。フォーティネット製品の導入・設定等の専門知識やネットワークセキュリティに関するスキルを認定する試験である「NSE認定」資格者が27名在籍（2023年2月現在）しており、機器選定の支援や仕様問合せの対応を行う。検証環境が充実しており、性能試験やトレーニング、操作説明やセミナーなど様々な形で支援を行っている。また、機器の無償貸出も行っている。

2つめの強み「物流機能」は、主要製品の在庫化である。FortiGate (FG-40F、FG-60F、FG-80F、FG-100F、FG-200F) のほか、FortiSwitch・FortiAPの主要モデルを在庫化している。2023年2月現在の台数は4,500台程となっており、半導体需給逼迫によるIT機器の納期長期化が問題視されている中、速やかな納品が可能となっている。

3つめの強みは受注後の手厚いサポートを提供する「保守体制」だ。オンサイトでの設置サービス、電話・Eメールでの技術問合せ対応、全国の拠点からの保守サービスを提供する。2022年4月からは設計構築サポートの技術組織を新設。エンタープライズ案件でマルチベンダ環境の構築に関する経験豊富なエンジニアが、既存他社製品からFortiSwitch、FortiAPで構成されたセキュアSD-Branchへのマイグレーションを実施する。更にSCSKでは、その他のフォーティネット製品シリーズの商材の取扱いも積極的に拡大しており、フォーティネットの提唱するサイバーセキュリティメッシュプラットフォームの販売、構築体制を整備している。今後の期待は益々大きい。

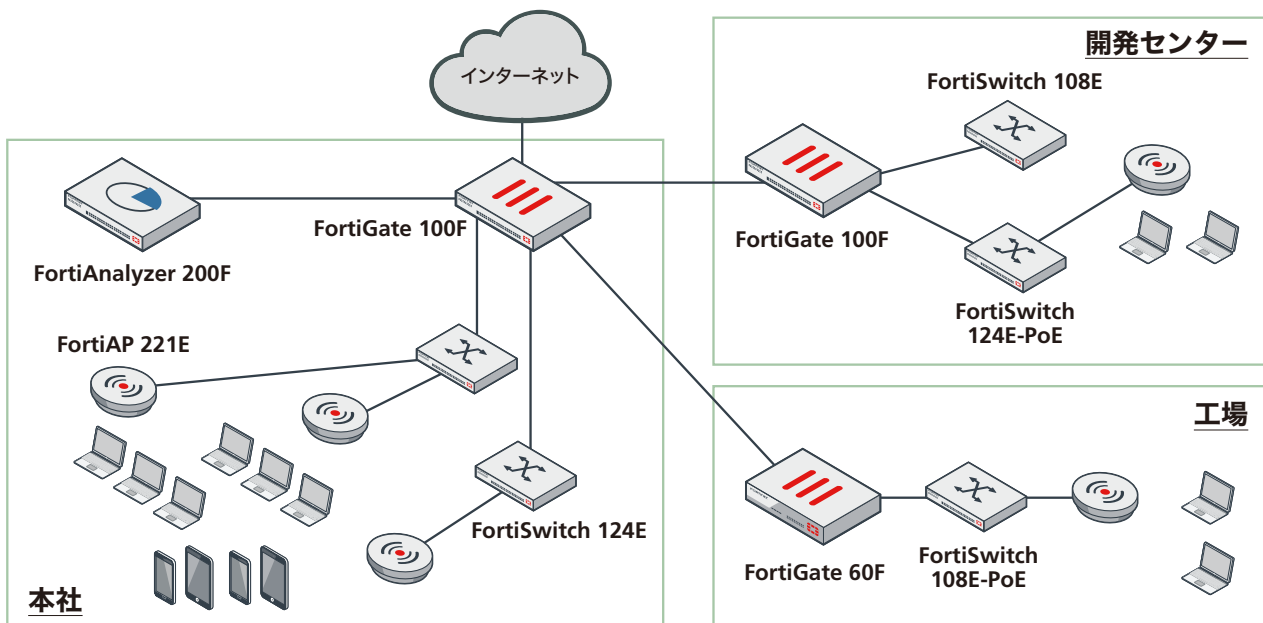


盛岡ガス株式会社 様

禁止していたインターネット接続を全社で解放。 セキュアSD-Branchで安全な接続を可能に

盛岡市をはじめ岩手県内に約5万件にガスを提供する盛岡ガスは、長年インターネットとは切り離されたクラウドな環境でITシステムを運用してきた。しかし、業務の非効率化が目立ち始めたため、インターネット接続を前提にした環境への移行を検討。これまで利用していたFortiGateに加え、FortiSwitch、FortiAPを組み合わせたセキュアSD-Branchソリューションの採用を決定し、本社を含む3拠点全てでインターネット接続を前提としたネットワーク環境の構築を目指した。

従業員用の約250台のPC、会社支給のiPhoneをカバーする広範囲の無線ネットワークを構築し、3拠点全てでインターネット接続ができる環境になった。今まで正確には把握できなかった社内ネットワークの詳細な可視化も実現している。セキュリティにおいてはFortiGateが提供する、ファイアウォール、不正侵入防止システム、アンチウイルス、Webフィルタリングといったセキュリティ機能を日々活用している。更にFortiAnalyzerと連携することで、自動防御に加え、アラートの監視を行うことによりリスク管理も実現した。



盛岡ガス様のセキュアSD-Branchの概要
本社、開発センター、工場の3箇所をセキュアにインターネットと接続している

事例詳細はこちら → https://www.fortinet.com/content/dam/fortinet/assets/case-studies/ja_jp/cs-moriokagas.pdf

巻末対談

SCSKのエンジニアが語る フォーティネット製品の利点と最新トレンド

統合型脅威管理アプライアンスとして高いシェアを誇る FortiGateは、スイッチやアクセスポイントなどの管理にコントローラや個別のライセンスが不要で、コストを抑えながらセキュアなネットワークを構築できるメリットがある。SCSKでは、フォーティネットとの密接な関係によって、最新技術をいち早く習得して顧客に提供している。フォーティネットの認定資格を有するSCSKのエンジニアが、近年の企業が抱えるネットワークに対する課題を解決するフォーティネットのテクノロジーや海外トレンドについて語った。



左より、大井氏、早田氏、碓井氏

SMBからエンタープライズまで幅広く勧められるフォーティネット

— 皆さんはフォーティネット主催のイベントに参加されたそうですね。

大井 私たち3人は、Fortinet NSE7 Network Security Architectに認定されていて、バンコクで開催された「Fortinet XPERTS Summit APAC 2022」というテクニカルイベントに日本代表として参加しました。NSE7というのは8つあるレベルの7番目ですが、日本のエンジニアとしては最上位に位置します。

碓井 私はネットワークエンジニアとして、数年前までは別のベンダー製品を担当していましたが、フォーティネット担当になってから、ほかのベンダーにはない技術があって凄く面白いと感じています。

早田 最近はクラウドシフトが盛んですが、ファイアウォールやスイッチ、無線アクセスポイントなど、エッジのデバイスは残り続けます。そのうえでセキュリティ管理が課題になっています。フォーティネット製品が他社と違って面白いところは、クラウドでのネットワーク管理にセキュリティの要素も加えられるところですね。

大井 製品ラインアップが豊富なところも特徴です。SCSKとしてもフォーティネットと密接に関わって新しい製品をいち早く検証し、営業体制も整えて展開しています。設定が手軽なため他のベンダーからフォーティネットに乗り換える企業も増えていますね。

— どのような事例がありますか。

早田 私が担当したある総合病院の事例を紹介します。診療科23科、職員が800人弱の大規模な病院で、従来の基幹ネットワークをそれまでのベンダーからフォーティネットのセキュアSD-Branch構成に変更しました。そのとき感じたのが、キッティングが想定以上に容易だったことです。FortiGateに対してFortiSwitchの特定ポートをつなぐだけで連携されますし、FortiGateの管理画面から全て設定できるので大規模環境ではあったのですがデプロイはとても簡単でした。

碓井 フォーティネット製品を当社は主にSMB企業向けに提供してきましたが、この総合病院のようにセキュリティを気にされるようなお客様が多く、より規模の大きいエンタープライズでの利用も増えていますね。フォーティネットでは、エンタープライズでの利用に耐えられるよう、製品ラインアップも拡充しています。たとえば、製造業向けには、OT（制御・運用技術）やIoT機器を接続するネットワーク機器（サードパーティ製含）と連携して可視化や制御ができる「FortiNAC」といった製品があります。製造業ではOT環境へのサイバー攻撃を脅威と感じており、大手企業ではセキュリティ強化に投資しています。

セキュリティ担保の需要に応える高い技術力が求められている

ー ネットワークセキュリティが気になるけれど、他社製品では導入時に課題があるのですね。

大井 そうですね。特に、広範囲のエリアに小規模な店舗や拠点を多数展開されている企業などは、苦労されています。そのような企業の場合、拠点では家庭用の安いルータを利用することもありましたが、それではセキュリティ面に不安があります。

早田 ディストリビュータによっては、納期重視で技術的な背景を持たないという点も課題となっています。セキュリティに不安のある企業のニーズに応えられないのです。SCSKは最新技術のキャッチアップをしていますし、フォーティネットの豊富な製品ラインアップによって顧客のニーズに応える提案力や、さまざまなケースで培った長年のノウハウがあります。導入後の手厚い保守体制も評価されていますね。今、100~200店舗を展開する企業に提案しているところですが、こうした企業の場合、各拠点は少人数で運用されているので、IT担当がいるわけでもなく効率的なネットワークセキュリティ管理ができていないのです。

碓井 すでにUTMとしてFortiGateを導入されているならFortiSwitch、FortiAPを導入して内部ネットワークのセキュリティを強化できますし、コントローラやアクセスポイントごとのライセンス費用もかからないというメリットがあります。また当社では、私たちエンジニアの技術力の維持、向上に対して投資し、自己研鑽できる環境が整備されています。その技術力をもとにアセスメントも行っており、セキュリティ脅威をコンサルティングしたうえで必要なソリューションを提案できます。マルチベンダ対応のエンジニアが多く、「他のベンダー環境からの移行も安心して任せられる」という声をいただくことも多いです。



世界のトレンドは、ゼロタッチプロビジョニングによる導入コスト削減

— フォーティネット製品によるネットワーク環境の設定は、他のベンダーとどう違うのでしょうか。

大井 他のベンダーの場合はモデルによって管理コンソールが異なる場合もあり、デプロイの仕方が変わるので導入や保守に一手間かかってしまいます。フォーティネットの場合は管理コンソールが統一されているので、モデルが違って共通の設定を施しやすいです。

早田 SCSK自体はマルチベンダで、フォーティネット製品以外にも扱っており、最適な構成を提案する立場にありますが、UTMとしてのFotiGateはかなり普及しています。全国のSI企業が扱える商流がすでにありますので、これらのSI企業がフォーティネットデバイスの設定を理解するのも簡単で、一気に展開できる手軽さがあります。当然お客様にとってもメリットがあります。

— XPERTS Summitでは、どのような最新技術が共有されましたか。

大井 ネットワークセキュリティを強化する場合、機器の費用だけでなく、導入や運用における費用も課題となります。拠点数が多い大企業ならなおさらですね。ですから、XPERTS Summitでは複数のフォーティネットデバイスを単一のコンソールから集中管理できる「FortiManager」を使ったゼロタッチプロビジョニングの紹介が丁寧に行われていましたね。

碓井 設定をテンプレート化して一気に配備するやり方で、多店舗展開も容易にできます。特にアメリカでは国土も広く、このような考え方が主流になっています。私たちも最新トレンドの技術をいち早く取り入れ、お客様に貢献していきたいです。



大井 泰之
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ
ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部
技術第二課 課長



早田 尚
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ
ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部
技術第二課



碓井 雄一郎
SCSK株式会社
プラットフォーム事業グループ
ITプロダクト&サービス事業本部
セキュリティプロダクト部
技術第三課 課長



ITプロダクト&サービス事業本部 セキュリティプロダクト部

〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント

e-mail: fortinet-info@ml.scsk.jp

※ FortiGateは米国Fortinet社の商標です。
 ※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
 ※ 記載製品の仕様は予告なしに変更される場合があります。
 ※ 記載の内容は2022年11月現在のものです。